

9月定例議会

9月定例議会は、9月10日から10月3日までの24日間の会期で開かれました。

一般質問には、17人の議員が、汚染牧草の処理施設問題や道路・河川の整備など、論戦を展開しました。

また、「幼児教育・保育の無償化」に伴う条例の改正や工業団地の分譲地を売り払う財産の処分、補正予算などを審議し原案のとおり可決しました。

平成30年度の一般会計をはじめとする各種会計の決算は、決算特別委員会を設置し、審議の結果、原案のとおり認定しました。

平成30年度一般会計の決算

歳入(主な内容)

市税は、固定資産税や軽自動車税など1043万円増の72億9314万円。地方交付税は、クリーンセンター焼却施設の改良工事の完了などにより、10億3040万円減の189億9818万円。国庫支出金は、7億9333万円減の29億5853万円。県支出金は、8317万円減の22億3940万円。市債は、8億3200万円減の46億1600万円などです。

歳出(主な内容)

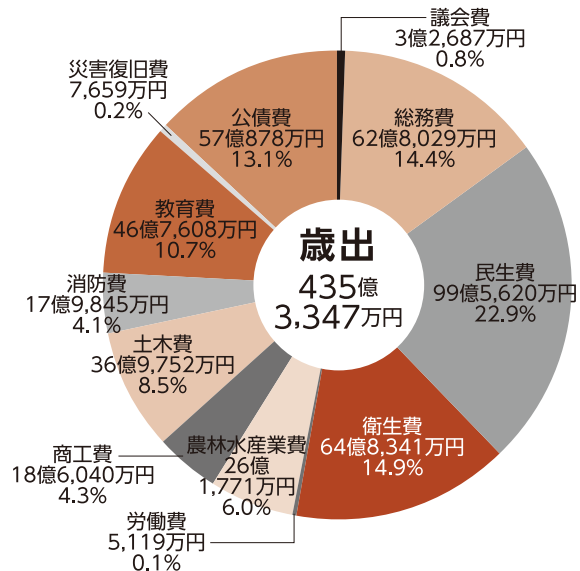
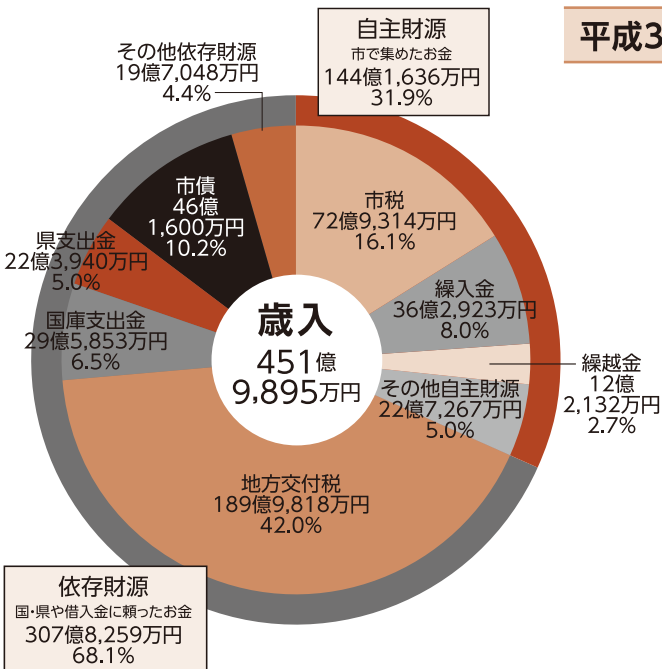
総務費は、人件費の削減や物件費の抑制などで20億2061万円減の62億8029万円。民生費は、瀬峰幼保一体施設の完了などで2億1482万円減の99億5620万円。土木費は、除排雪の経費など7億2174万円減の36億9752万円。教育費は、築館多目的競技場の改修工事が完了などで12億1452万円減の46億7608万円。公債費は合併特例債など6億5430万円増の57億878万円などです。

歳入と歳出の差引額は16億6547万円となりますが、翌年度への繰越額が1億3018万円で実質収支は15億3529万円の黒字となりました。

決算

定住促進に6600万円 40組98人移住

平成30年度一般会計15億3529万円の黒字決算





東京で開いた移住相談会



平成 30年度

各会計の決算状況

区分	収入 済 額	支出 済 額	
一 般 会 計	451 億 9895 万円	435 億 3347 万円	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	83 億 7959 万円	82 億 2486 万円
	介護保険特別会計	101 億 7332 万円	98 億 7961 万円
	後期高齢者医療特別会計	8 億 4388 万円	8 億 3190 万円
	下水道事業特別会計	35 億 6717 万円	35 億 2588 万円
	農業集落排水事業特別会計	2 億 7017 万円	2 億 6131 万円
	合併処理浄化槽事業特別会計	3 億 2337 万円	3 億 1168 万円
	診療所特別会計	3 億 8981 万円	3 億 5782 万円
	工業団地整備事業特別会計	4200 万円	3907 万円
水道事業会計	28 億 3626 万円	35 億 7080 万円	
病院事業会計	85 億 6304 万円	92 億 6798 万円	

※水道事業会計および病院事業会計については、収益的収入・支出および資本的収入・支出の合計額を記載しています。

※万円未満四捨五入

本年度の決算概要

一般会計の収入済額は前年度比5.1%減の451億9895万円、支出済額は前年度比6.2%減の435億3347万円になりました。

